

### 【ヒットルアー】

- ・モカDR(F) ミドピーノ 7尾
- ・モカDR(SS) サチオノチャ 1尾
- ・ちびパニクラDR-SSタッキーブラウン 1尾
- ・ファットモカJr. SR(SS) 黒ザリガニ 1尾

- ・ココニヨロ SP ミドピーノ 1尾
- ・イーグルプレーヤー50slimGJゴールドアーク1尾
- ・イーグルプレーヤー40slimGJオレダクション 1尾

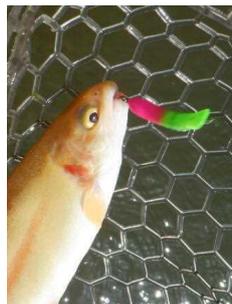
モカDR(F)  
ミドピーノ



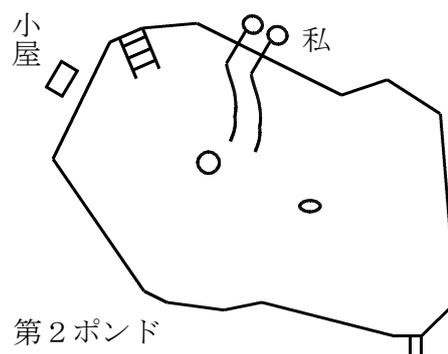
ちびパニクラDR-SS  
タッキーブラウン



ココニヨロ SP  
ミドピーノ



イーグルプレーヤー50slimGJ  
ゴールドアーク



### 【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥4,000 女性 ¥3,500
- 放流なし。餌撒きなし。
- 晴れ。風は強く吹いている。南東の風のため、風が強くあたる。終日、水面は波立ち、鏡になることはほとんどなかった。一方、第1ポンドは風裏になり、風があまり当たらない。
- 雨による濁りが残っている。
- 客は少ない。数日前にアルビノが放流された。

### 【状況】

- モカDR(F)ミドピーノからスタート。連続3尾取った。しかし、続かない。
- いつもの釣り方ではさっぱりダメ。ツレも同様のようだ。
- 今日の課題は、以前から持っているいろいろなクランクが一定層を泳ぐ巻くスピードを確立することである。しかし、強い風にラインがあおられ、思うスピードで巻くことができない。結局、2~3種試しただけとなっ

た。

○釣れる泳層を探ろうと、潜るクランクをいろいろ試したが、さっぱりダメ。

○「時間をおいて釣れたルアーを繰り返す」ということから、モカDR(F)ミドピーノを再び投げた。その結果、連続で3ヒットし、少しおいてから1尾追加することができた。

○4時～5時の活性が高いときに1尾も取れなかった。このとき、隣の方がトップで入れ掛かりである。まねをして釣ったがダメ。トップにこだわっていたため、こういう結果となった。

### 【振り返り】

○「隣で釣っていた方は一日で86尾、午前も午後も同様の釣果だった」ということからすれば、この季節(今日)のマスに自分たちの釣り方はあっていないということだ。

○今日も、スタッフ安藤さんと話をする事ができた。安藤さんの話や隣の方の釣果から考えてみた。

- ・自分たちはSSを使った釣り方で釣果を上げている。SSはFより深い所を泳ぐ。泳ぎ方はFより穏やかである。この釣り方は冬季の釣り方にあっているのだろう。
- ・モカDR(F)ミドピーノで連続ヒットとなった。今日は、穏やかな泳ぎより、ややプリプリした泳ぎを好んだということだろう。
- ・冬はマスがいる場所(層)が一定のところになるが、春になってくるといろいろな層に散らばってくる。

### 【次回に向けて】

○この時期は、マスの泳層がばらけるということから、持っているクランクを次々と投げよう。

○この中で、潜行深度や一定層を泳ぐ巻きスピードを探ることにしよう。